

啓伸塾便り

むつき
1 月号(睦月)
January

基礎学力を重視する学習塾
啓伸塾
ただ今、冬の新入塾生募集中

英語を勉強する必要性とは？

シアジヨフ英会話より

毎日の生活の中で英語を使う機会が少なく、英語を勉強する必要性に疑問を感じている中学生は多いと思います。

また、電子辞書や自動翻訳機などの便利なツールがあり、益々、英語のスキルを身につけなくても問題は無いと思える世の中に変わっていると感じる中学生が多いと思います。

しかし、実際は英語の勉強をする必要性が下がるところが、大きく上昇しています。

勉強を熱心しない子の、勉強をしない大きな理由の一つに「学校で覚えたことは、社会に出て使わないから、そんなに勉強する必要はない」という言い訳があります。

英語以外の教科の重要性は後述するとして、英語に限っては、これからの生活で、必要不可欠の教科です。その理由について、これから述べます。

グローバル化が進んでおり英語の必要性が上がっている
少子高齢化による人口減少により、国内だけの市場では生き残ることができなくなる企業が増え、生き残りを懸け、販路拡大・事業展開のために海外進出を目指す企業が増加しています。海外進出をする企業は大手企業だけではなくあります。

英語圏に進出する場合はもちろん、非英語圏の地域においても世界共通語である英語でのコミュニケーションは必要不可欠です。また、前述した少子高齢化が進む日本においては、外国人労働者の雇用が増加しています。彼ら彼女らとのコミュニケーション言語は英語です。

海外進出する企業は増加傾向にある

以前は、安い土地や労働力を得るための「生産拠点」を求め中国やタイ、インドネシアなどアジアの国に進出する日本企業が大多数でした。

しかし、現在はアジアを中心に新興国に、新たな「消費市場」を求めて進出する企業が増加しています。

小学生のみなさんに理解していただきたい中学の勉強

小学 6 年生のみなさんは、いよいよこの春から中学生になります。中学では、勉強が今の何倍も難しくなります。

特に算数は、数学となり、小学校での学習の、さらに高度なことを学習します。学校では、その準備として、まとめのテストを行い小学校の学習の復習を行っていることと思います。

塾では、特に中学で重要になってくる単元を重点的に復習していきます。とにかく、わからないことをそのままにしないようにしてください。最低限度小数・分数の計算は、確実に出来るようにしなければなりません。

このような、練習して習熟できる勉強は、ご家庭で保護者の方にやっていただきたいです。家庭学習の習慣があるかないかが、中学での勉強のカギになります。

小学校では、授業さえ、しっかり聞いていればテストで高得点を取れますが、中学では、家での復習なくして、テストで思うような点数を取ることができません。6 年生以外の小学生のみなさんも、今の学習が中学へ続き、高校入試にもつながっていることを、理解していただきたいと思います。

算数以外の学校のテストも、特に漢字は、しっかりとやり直しをしてください。漢字がわからないと、複雑になってくる中学の問題が理解できません。

問題を繰り返し解くという学習法が、中学での勉強の基本です。「できなかった問題をできるようにする」。このような学習姿勢を小学校のうちから身に付けましょう。

また、小学校での英語も重要です。最低でもアルファベット、ローマ字が書けて、教科書の英文をしっかりと音読できるように、練習してください。

小学校の英語のテストは簡単です。油断しないで下さい。中学英語は、大変難しいです。英単語・英文を読んで書くことが求められます。

1 月の予定

1 月 4 日(日) 中 3 生 全県模試
1 月 10 日・17 日(土) 中 3 生 冬期講習
1 月 24 日・31 日(土) 中 3 生 入試対策講座
(私立高校入試まで約 1 か月・公立高校入試まで約 2 か月です。)

通常授業開始 1 月 5 日(月)
1 月 12 日(月) 成人の日(授業を行います)

中学 3 年生はテストの連続で気が許せません。体には十分に気をつけてください。健康も実力のうちです。
その他に中学 1・2 年のみなさんは、1 月上・中旬に、実力テストがあります。塾の授業でも実力テスト対策を行っています。学年末テストは 2 月上・中旬です。気を許すことなく頑張りましょう。

あけましておめでとうございます

自動翻訳機はビジネスには不向き

一般的なシーンを想定して設計された自動翻訳機はコミュニケーションの補助としては優秀ですが、商品の仕様や細かい契約書に利用すると、思わぬミスにつながります。

英語に関する知識がないと、誤解を招く翻訳や表現があっても気づかず、ビジネスや相手との関係に影響しかねません。最新の AI を使った自動翻訳機であっても、最後は英語の知識を豊富に持った生身の人間のチェックが必要となります。

このように「英語」は、その他の教科の学習と異なり、将来学校を卒業して仕事をする上でのスキルになります。

社会に出たら、おおいに必要とされるのが「英語」なのです。

これは飽和状態の日本市場だけでなく、成長を続ける新興国を顧客として取り込みたいという背景があります。
インターネットや流通システムの発展に伴い、海外進出のハードルが低くなりつつある現代、海外に活路を見出す企業はさらに増えるでしょう。

リモートワークの一般化が英語の必要性を高める

リモートワークの一般化も英語の勉強が求められる背景にあります。出社が必要ないリモートワークの増加で、居住地を問わず英語圏の企業でも働きやすくなりました。

また、プログラミングをはじめとする IT 関連の作業は、特にリモートワークに適しているため、全世界的にリモート化が進み英語の必要性が高まります。

作業のリモート化に応じて、フリーランスや関連企業にもチャンスが生まれます。具体的には、日本に拠点を構えながら、様々な国の仕事を受けることが可能になります。

また、国内においても、インバウンドの取り込みに活路を見出す観光業の企業が多くなり、英語の必要性が増しました。